

変異原などがある。

基本的には国立医薬品食品研究所が開発した Percellome 手法を用いるという特徴がある。この手法は、ホモジネートサンプルの中の核から来る DNA 情報をマイクロアレイに持ち込んで細胞1個当たりの平均コピー数として計算できるようにするというものである。用量作用関係がきちんと取れるマイクロアレイを探すために、ここに示すような Liver-Brain Mix という、脳と肝臓のサンプルをお互いに薄め合った5種類のサンプルを用意して、系の直線性を検定した(図4 - 2)、(図4 - 3)。

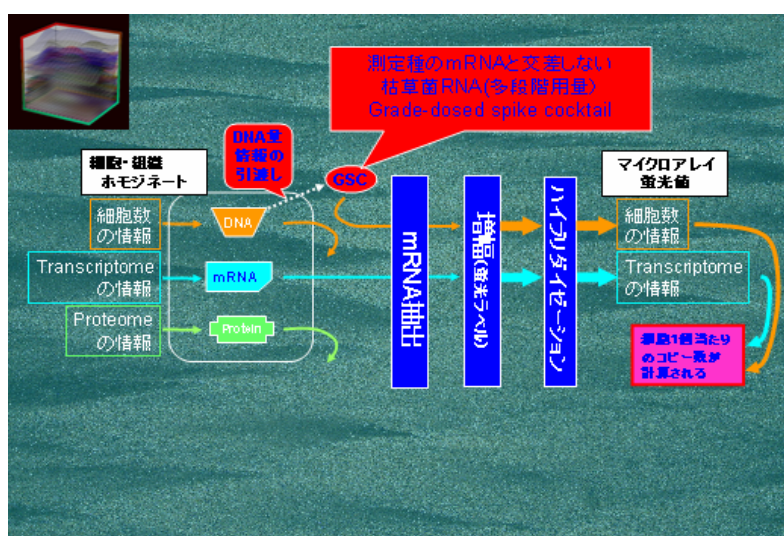


図4 - 2